

報 雜

◎人 事

正六位 喜多島 健 磨
任地方技師
叙高等官四等

衛生技師 喜多島 健 磨
願ニ依リ本職ヲ免ス (七月十九日)

高 原 滋 夫
任岡山醫科大學助教授
叙高等官七等

岡山醫科大學助教授 高 原 滋 夫
本俸十二級俸下賜
職務俸金五百四十拾圓下賜

(七月二十四日)
從七位 村 上 榮
(各通)
從七位 黒 田 章 夫
叙正七位 (七月十五日)

岡山縣衛生技手 吉 野 啓 三
衛生技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
(七月二十六日)

陸軍軍醫大佐正五位勳三等 尾 崎 文 七 郎
任陸軍軍醫少將

陸軍軍醫中佐正六位勳四等 矢 野 義 徳
任陸軍軍醫大佐

陸軍軍醫少佐正六位勳四等 大 屋 晋 市
任陸軍軍醫中佐

陸軍軍醫大尉從六位勳五等 永 山 太 郎
陸軍軍醫大尉從六位勳五等 得 能 倫 二
陸軍軍醫大尉從六位勳四等 吉 岡 總 一
陸軍軍醫大尉正七位勳六等 安 田 常 男
任陸軍軍醫少佐 (八月二日)

從五位 安 原 節 太 郎
任地方技師
叙高等官三等

衛生技師 安 原 節 太 郎
願ニ依リ本職ヲ免ス (八月九日)

正四位勳三等 生 沼 曹 六
叙勳二等授瑞寶章 (八月七日)

岡山醫科大學教授 田 部 浩
賜本俸三級俸 (七月三十一日)

岡山醫科大學教授 生 沼 曹 六
(各通) 岡山醫科大學教授 田 部 浩
岡山醫科大學教授 畑 文 平
滿洲國へ出張ヲ命ス

(八月十日)
陸軍軍醫少將 平 川 龍 造
(各通)
陸軍軍醫少將 尾 崎 文 七 郎
豫備役被仰付 (八月二十三日)

○石 天 之 樞君 は今般島根縣濱田遞信省簡易保險診療所を辭し本縣淺口郡玉島町遞信省簡易保險診療所に勤務せられたり

○徳 重 一 志君 は豫て岡山醫科大學衛生學教室に於て研究中なりしが今般同學皮膚科泌尿器科教室に轉ぜられたり

○奥山美佐雄君 は今般神戸市立衛生試驗所を辭し本縣邑久郡太伯村神崎に於て開業せられたり

○掛 谷 令 三君 豫て岡山市東中山下に於て開業中の同君は今般同市上伊福東町2丁目に新築移轉せられたり

小倉忠夫君逝く 君は明治 28 年第 3 高等
學校醫學部を卒業し東京市四谷區荒木町に
於て開業し居られしか頃日病氣に罹り療養
に手を盡されしも其效なく遂に去る 6 月 22
日遂に永眠せられたりと寔に哀悼に堪へず
謹みて茲に弔意を表す

赤木謙吾君逝く 君は大正 10 年岡山醫學
專門學校を卒業し福井縣小濱町立病院に勤
務し後同地に於て開業し近年福山市神島町
に移轉開業し居られしが先般病を獲岡山醫
科大學附屬醫院に入院し治療中なりしか遂
に去月 19 日永眠せられたりと寔に痛惜に
堪へず謹みて茲に弔意を表す

林佐君逝く 君は大正 4 年岡山醫學專門學
校を卒業し廣島縣雙三郡和田村に於て開業
し居られしか去月 20 日永眠せられたりと
寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

◎自然科學研究獎勵補助

岡山醫科大學教授緒方博士外 4 名に次の事項の研究
に對し文部省より昭和 12 年の自然科學研究獎
勵として補助せられたり

本邦氣候ノ冷却度ニ關スル研究

又財團法人船員病及熱帶學獎勵會常務理事桂田富
士郎博士外 2 名に次の事項の研究に對し同様補助
せられたり

微生物ニ由來スル熱帶乃至亞熱帶病ノ研究

◎岡山醫學會第 382 回通常會

同會は本年 9 月 30 日午後 4 時より岡山醫科大學に於て開會す